

第5 豊かな食生活とうるおいの提供

第5 豊かな食生活とうるおいの提供

1 環境保全型農業の取組

(1) エコファーマーの認定状況

～エコファーマー累積新規認定件数は微増～

表5-1-(1) 年度別エコファーマー認定状況の推移

(単位：件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
累積新規認定件数	15,584	16,522	17,010	17,235	17,669	17,901	18,099	18,245
認定件数(年度末現在)	15,115	15,565	13,618	12,392	11,030	9,537	8,872	6,628
水 稻	11,681	12,283	10,656	9,989	9,088	8,309	7,873	5,055
大豆・そば	33	45	47	44	39	38	32	25
野 菜	2,110	2,083	1,868	1,735	1,477	1,019	892	694
果 樹	2,317	2,202	2,047	1,593	1,357	1,055	888	859
花 き	152	142	121	118	97	91	85	60

資料：農産園芸課調査

注：複数品目で認定されている場合があるため、品目別件数の合計は認定件数と一致しない。

(2) 有機物の施用状況

～水田への稲わらのすき込み面積率はほぼ同程度で推移～

表5-1-(2) 稲わら利用状況

年 度	す き 込 み					収 集		焼 却	
	秋すき込み		春すき込み		計 比率(%)	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)
	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)					
平成 7年	44,306	32.2	67,975	49.3	81.5	16,068	11.7	9,451	6.9
12年	44,673	37.0	66,267	54.9	91.9	8,165	6.8	1,595	1.3
17年	46,178	38.2	67,213	55.6	93.7	7,180	5.9	198	0.2
22年	49,661	42.1	60,666	51.5	93.6	7,428	6.3	89	0.1
23年	52,168	44.4	57,595	49.0	93.4	7,587	6.5	101	0.1
24年	52,287	44.5	57,804	49.2	93.7	7,365	6.3	97	0.1
25年	51,273	42.8	61,152	51.1	93.9	7,187	6.0	126	0.1
26年	50,956	42.4	62,053	51.7	94.1	7,017	5.8	65	0.1
27年	49,900	42.5	60,499	51.5	94.0	7,135	6.1	66	0.1
28年	49,984	42.8	59,679	51.1	93.9	7,063	6.0	38	0.0
29年	49,114	42.2	60,219	51.7	93.9	7,022	6.0	36	0.0

資料：農産園芸課「稲わら等有機質資源の有効利用実態調査」

注：ほ場放置は、大部分が翌年の春にすき込まれることから「春すき込み」としてカウント

表5-1-(3) 水田・普通畑に対するたい肥施用面積割合

年 度	水 田	普 通 畑
平成 7年	7.0 %	29.2 %
12年	4.5	20.5
17年	5.7	24.0
22年	12.4	24.9
23年	12.6	21.6
24年	12.1	20.2
25年	11.9	19.6
26年	11.3	18.9
27年	11.4	19.7
28年	9.7	18.3
29年	11.5	19.1

資料：農産園芸課「稲わら等有機質資源の有効利用実態調査」

注：水田には転作田は含まれない

(3) 環境に優しい技術の普及状況

～農業用使用済みプラスチックは適正処理が定着～

ア 環境保全型農業に対応した農業機械

表5-1-(4) 環境保全型農業に対応した農業機械の普及状況 (単位：台)

年 度	田 植 機 (普及率：%)				高精度 除草機	マニユアス プレッダー
	総 数	側条施肥	紙マルチ	不耕起		
平成 8年	78,798	7,000 (8.9)	-	18(0.0)	-	393
13年	70,120	12,500(17.8)	-	8(0.0)	-	437
21年	64,065	13,755(21.5)	32(0.0)	15(0.0)	39	484
22年	63,461	13,826(21.8)	32(0.0)	15(0.0)	42	502
23年	62,052	13,544(21.8)	32(0.0)	13(0.0)	42	510
24年	61,468	13,357(21.7)	29(0.0)	13(0.0)	43	510
25年	60,825	13,398(22.0)	28(0.0)	12(0.0)	41	510
26年	60,435	13,475(22.3)	28(0.0)	12(0.0)	44	515
27年	58,242	12,818(22.0)	28(0.0)	7(0.0)	46	522
28年	56,304	12,925(23.0)	28(0.0)	7(0.0)	52	533
29年	53,900	12,896(23.9)	28(0.0)	7(0.0)	55	539

資料：農産園芸課「主要農業機械普及状況調査」

イ 農業用使用済みプラスチックの適正処理

表5-1-(5) 農業用使用済みプラスチック排出量の推移

年 度	総排出量(A)	うち園芸用(B)	平成11年対比 (%)	(B)/(A)
平成 11年	3,560 t	2,627 t	100 %	74 %
13	2,096	1,178	59	56
16	2,177	1,045	61	48
17	2,114	976	59	46
19	2,461	1,228	69	50
21	1,933	703	54	36
23	2,187	323	61	15
26	1,926	1,247	54	65
28	1,643	1,107	46	67

資料：農林水産省「園芸用ガラス室・ハウス等の設置状況等調査」

表5-1-(6) 農業用使用済みプラスチック処理実態 (単位：t)

項目 年次	総排出量	法に基づく適正な処理量				個人等による 不適正な処理量
		再生	埋立	焼却	適正保管等	
平成11年	3,560	1	1,483	1,446	-	630
13	2,096	133	1,481	315	62	105
16	2,177	549	1,151	477	0	0
17	2,114	1,019	628	466	0	0
19	2,461	1,825	222	414	0	0
21	1,933	1,563	345	335	51	0
23	2,187	2,056	102	29	0	0
26	1,926	1,503	15	67	341	0
28	1,643	1,191	20	83	349	0

資料：農林水産省「園芸用ガラス室・ハウス等の設置状況等調査」

(4) 農薬の流通状況

～農薬の流通量は減少傾向～

表5-1-(7) 農薬流通量の推移

農薬年度	農作物延 作付面積 (ha)	流通量の内訳 (t・kl)				合計	
		殺菌剤	殺虫剤	殺虫殺菌剤	除草剤	流通量 (t・kl)	10a当たり流 通量(kg・l)
平成24年度	149,100	1,439	2,343	643	2,676	7,366	4.8
平成25年度	149,100	1,290	2,209	589	2,903	7,210	4.7
平成26年度	149,400	1,347	2,155	583	2,963	7,274	4.7
平成27年度	148,900	1,183	1,990	543	2,831	6,783	4.4
平成28年度	148,500	1,156	2,075	544	2,892	6,906	4.5
平成29年度	147,800	1,048	1,822	547	2,365	6,540	4.3

資料：農産園芸課「農薬流通実態調査」、農林水産省統計情報部「作物統計」

注：農薬年度とは、前年度の10月から当年度9月までの期間

(5) 特別栽培農産物認証制度等の取組状況

ア 新潟県認証特別栽培農産物

～特別栽培農産物の認証面積はH29肥料取締法違反事案等の影響により減少傾向～

表5-1-(8) 平成30年度県特別栽培農産物認証制度認証状況(H31年1月末現在)

農産物名	件数(件・%)			面積(ha・%)			出荷予定量(t・%)		
	H30	H29	H30/29	H30	H29	H30/29	H30	H29	H30/29
米	780	825	95	10,848	14,894	73	49,865	68,377	73
園芸	27	29	93	12	20	57	149	164	91
計	807	854	95	10,859	14,915	73	50,041	68,541	73

資料：農産園芸課調査

注：ラウンドの関係で数値の合計が一致しない場合がある

イ 有機農産物（JAS法）

～有機農産物認定の農家戸数は全国4位～

平成28年3月31日現在の生産工程管理者*の認定件数は、116件で全国4位、農家戸数は、182戸で全国4位となっている。また、聞き取り調査によれば、平成28年12月末現在で8機関が本県に係る認定を行っており、米、野菜等305.1haを認定している。

表5-1-(9) 有機JAS認定事業者数(H28.3.31現在、国内分のみ)

	生産工程管理者	農家戸数
新潟県	116件	182戸
全国	2,222件	3,660戸

*生産工程管理者

対象の農産物の生産工程を管理・把握している者で、生産者や生産組合代表等が該当。

資料：農林水産省

2 地産地消、食育の推進

(1) 地産地消の取組

～県内卸売市場の県産農林水産物の平成28年の取扱割合は横ばい～

ア 地元卸売市場等の連携

表5-2-(1) 県内卸売市場における県内産青果物取扱高の割合の推移

(単位：%)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
青果物	38.8	38.3	38.1	37.7	34.1

資料：新潟市中央卸売市場年報、食品・流通課「地方卸売市場実態調査」

表5-2-(2) 県内消費地市場における県内産水産物取扱高の割合の推移

(単位：%)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
水産物	21.8	19.6	18.9	19.0	18.8

資料：新潟市中央卸売市場年報、食品・流通課「地方卸売市場実態調査」

イ 直売所の動き

表5-2-(3) 直売所の設置、販売状況

		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
農林産物	設置数(ヶ所)	639	617	618	615	609
	販売額(千円)	10,858,727	11,729,559	12,343,385	13,357,434	15,161,534
水産物	設置数(ヶ所)	6	6	6	6	6
	販売額(千円)	191,340	152,890	133,880	131,280	132,418
合計	設置数(ヶ所)	645	623	624	621	615
	販売額(千円)	11,050,067	11,882,449	12,477,265	13,488,714	15,293,952

資料：食品・流通課、水産課

注：隔年調査に変更したため、平成29年は調査していない。

ウ 学校給食への地場産青果物等供給推進の取組

表5-2-(4) 平成29年度学校給食における県産農林水産物の使用食品数割合

(単位：%)

総使用割合	うち、油脂・砂糖・種実類除いた割合	穀類	野菜	果物	きのこ	畜産物	水産物	油脂・砂糖・種実類
33.3	41.3	40.7	39.5	9.7	67.0	66.4	2.3	0.4

資料：文部科学省、教育庁保健体育課（抽出調査）

(2) 食育の取組

～平成29年度は、延べ79人の食育ボランティアが、2,402名を対象に活動を実施～

表5-2-(5) 食育ボランティア登録人数

登録人数(人) (平成30年3月末現在)		〈登録分野〉 (複数登録)			
		食文化・郷土料理	農業等生産	栄養・健康管理	その他
個人	55	37	13	20	9
団体	12団体 (2,289人)	10	2	4	4

資料：食品・流通課

表5-2-(6) 食育ボランティアの活動事例(平成29年度)

区分	活動内容	活動を行った食育ボランティア数	対象者数
児童・生徒を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none">・田植えなどの農作業体験・ごはんを中心とした日本型食生活について講義・伝統食や郷土料理をテーマとした調理実習	延べ79人	2,402人
一般を対象とした活動	<ul style="list-style-type: none">・伝統食や郷土料理をテーマとした調理実習		

資料：食品・流通課

3 うるおいの提供

(1) 都市と農山漁村の交流

表5-3-(1) 小・中学生の宿泊を伴う体験交流活動参加者数
(単位：人)

	H27	H28	H29
延参加者数	35,531	33,652	30,238

資料：地域農政推進課「子ども農山漁村交流プロジェクト（教育体験旅行）実施状況調査」

表5-3-(2) 農林漁業体験民宿数の推移

①農林漁業体験民宿登録数の推移

余暇法(第16条第1項)の規程に基づき登録している農林漁業体験民宿の数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
新潟県	126	127	133	133	129	122	113	99	98	92	82	74	67	62
全 国	538	542	545	545	547	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：「農林漁業体験民宿数」(財)都市農山漁村交流活性化機構

注1：年度末現在の数値(30年度は平成31年1月末現在)

2：平成22年度から全国数値なし(公表していない)

②規制緩和により開業した農林漁業体験民宿数の推移

平成15年度以降、各種法の規制緩和による基準に従い開業した新潟県内の農林漁業体験民宿の数

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
開 業	1	9	12	20	5	5	7	6	2	4	4	6	6	17	6	14	124
(農家)	1	9	11	19	4	5	4	3	2	4	3	6	6	16	6	14	113
(漁家)	0	0	1	1	1	0	3	3	(※1)	0	1	0	0	1	0	0	11
うち廃業	0	0	1	0	1	2	1	0	8	2	1	1	5	1	0	2	25

資料：「規制緩和による農林漁業体験民宿数」新潟県福祉保健部生活衛生課

注1：年度末現在の数値(30年度は平成31年1月末現在)。全国数値は不明。

2：廃業数は現時点(平成30年1月末)で廃業届のあった数

表5-3-(3) にいがた「なりわいの匠」認定技能数(平成31年3月末現在)

技能分野	認定技能数
農 林 漁 業 体 験	984
農林水産物加工体験	840
郷 土 文 化 体 験	1,454
自 然 観 察 体 験	336
計	3,614

資料：地域農政推進課調査

注：認定者数は2,510名